

令和元年度南予地方局予算の実施状況 (R2. 2. 29 現在)

- 1 予算事項名 河内晩柑魅力発信事業費(南予)
- 2 事業期間 平成30年度～令和元年度
- 3 所 管 産業経済部産業振興課産地戦略推進室

4 事業概要

河内晩柑は本県が生産量日本一であり、県内では宇和島圏域での生産がその9割以上を占めるなど、南予を代表する柑橘の一つである。果皮にはオーラプテンなどの有効な機能性成分を含むことが判明している一方で、生産者には十分浸透しておらず、また生果自体の認知度も低い状況にある。

そこで、河内晩柑果皮の機能性成分が明らかになったことを契機に、関係団体と連携し、生産者への意識啓発を行い、河内晩柑の生果自体の認知度やブランド力の向上による生産振興・消費拡大を図り、柑橘農家の所得向上と南予農業の活性化に資する。

	令和元年度	令和2年度
予算額	795 千円	—

5 令和元年度の事業実施状況

(1) 河内晩柑魅力発信協議会の開催

地方局で、宇和島市、愛南町、JA えひめ南、県(南予地方局)で構成する「河内晩柑魅力発信協議会」を開催し、河内晩柑の認知度向上やブランド力の向上を図るため、関係者が一丸となって魅力発信や消費拡大に取り組むこととなった(5/15、2/12)。

(2) 生産者に対する意識改革セミナーの開催

加工利用の推進や、情報発信能力の向上を図るため、生産者や直売所のリーダーを対象とした研修会を開催(11/29 18人)。効果的な黒点病防除など栽培技術の向上を図るため、生産者を対象とした研究会を開催(2/12 32人)。

(3) 河内晩柑PRロゴの作成

河内晩柑魅力発信協議会で作成したキャッチコピーを使用して、のぼり旗等の販促アイテムを作製し消費拡大に活用(図1)。

(4) 河内晩柑の未利用果皮用途拡大

地方局職員が開発したマーマレード(世界マーマレード大会で金賞受賞)の活用を(株)源吉兆庵に提案し、マーマレードを餡に用いた「河内晩柑餅」が開発され、G20 愛媛・松山会合歓迎レセプション等で提供された(8/29、8/31、9/1)。

果皮の加工利用を推進するため、加工業者に果皮ペースト等の一次加工品製造を委託し、飲食店等にサンプル提供することで新たな用途を開発する。

(5) 大消費地での生果等の販売促進

- ・ 5/25 日吉東急アベニューでの河内晩柑販売促進(神奈川県横浜市)
販売実績：生果 1,000kg
- ・ 6/28～30 台湾裕毛屋での愛媛フェア(台湾台中市)
販売実績：生果 500 kg、加工品 137 kg
(夏季販売仕向けかんきつ品質安定化事業と連携)

6 令和2年度の計画

令和元年度をもって事業終了



魅力発信リーダー研修会
(ワークショップ)

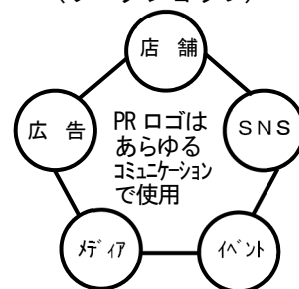


図1 PRロゴ活用体系